

## 第2回区民車座集会意見交換内容

※読みやすさ等のため、文意を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。このため、実際の内容は配信映像をご覧ください。

- 1 開催日時 平成26年2月21日（金）午後7時から午後8時20分
- 2 場所 川崎区役所7階第1会議室
- 3 参加者等 参加者18名、傍聴者9名
- 4 概要

### （1）市長挨拶

みなさんこんばんは、川崎市長の福田でございます。今日はお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

この区民車座集会は川崎も大きく145万人の都市になって、そして細長いまちのつくりでありますから、なかなか市長と話したことがないですとか、あるいはもっと言えば、見たこともないという方もたくさんいらっしゃるという状況でして、もっと市政を身近に感じていただくという意味で、「ねえ市長」というふうに、気軽に意見交換ができる場所を、皆さんから直接話をお伺いする機会を作りたいということで、先月は麻生区を第1回目として、今月は川崎区、今回で2回目になります。

是非、忌憚のない皆さんからの意見をいただいて、意見交換できればと思っております。今日も、インターネットで、この皆さんのお話や、私の答えが配信されております。

この川崎、この会場に来られない人も、どんなやり取りをしているかというのを見ていらっしゃる方もいますので、是非建設的な、良い意見交換ができればと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

### （2）意見交換

#### ア 子育て

**田母神さん：**こんばんは。中瀬在住の田母神良子と申します。保育園で、子どもと暮らした経験を元に発言させていただきます。待機児童解消というのはいうまでもなく、喫緊の課題なのですが、それに伴い子どもたちに劣悪な保育環境が押しつけられているという厳しい状況があります。すし詰め保育や、細切れ保育が保育士に押し付けられています。マンションの一角という施設が増えていきます。ある公立保育園で交流会を行ったときに、園庭のない園の年長児が竹山に目を輝かせ、「やってもいい」と夢中になってやっていました。それを見た園庭のない園の長は「こんなに喜ぶならやらせてあげたい」と苦慮していました。

横浜市では、園庭のない保育園では、保育士が公園の場所を取らなければならない、場所取りをしなければならないと聞いています。そのような中、川崎の子どもによりよい環境を、安心して子どもが暮らせるようにしてほしいと思います。

そして、川崎は、この間、企業参入を拡大させていますけれども、職員の勤続年数が1年未満という園が10数か所あるということで、そこでは保育士は一般の人より10万も少ない賃金で募集かけていますが、集まらないということです。

是非働く人の条件をよくしてください。

**石倉さん**：大島上町在住の石倉博子と申します。私は、待機児童解消に向けての要望をしたいと思います。「民間でできることは民間で」ということで、無駄をなくすことは大事ですが、子育てに係る保育園事業を民間、その中でも株式会社の参入を認可の規定を緩和させて推し進めることをやめていただきたいと思っています。

私は今回子どもを保育園に入園させたくて、このように保育所入所案内というものを取り寄せたんですが、川崎市認可保育園という項目と、川崎市認定保育園という項目がありまして、ママさんたちは認可保育園と認定保育園の差が分からない。認定保育園の方はお金が高いから入れないというだけで、その違いがここにきちんと載せられていないところが親切ではないなと思うのと、今までは、市の補助は5千円だったんですけど、今回2万円になるということで、すごく入れやすい環境になってしまっているんですけども、保育環境が整っていないところに入りやすくするというのは、ちょっと親切ではないなと思っています。

去年、1年間厚生労働省に報告されている保育園での死亡事故の8割は無認可保育園で起きています。世田谷区は、今のところ、全国的に見て、株式会社の参入はまだ質を満たしていないということで、拒んでいるという面もありますので、是非検討していただきたいと思っています。

色々な権限をお持ちの市長さんだからこそ、母親が喜ぶ保育園設置をお願いしたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

**越川さん**：川崎区に住む越川です。川崎区の大師地区にある幼稚園、保育園に子どもを通わせているのですが、保育園は1年、幼稚園は2年で廃園を今年の夏に突然伝えられました。保護者、先生、地域の方、卒園生の方も廃園に反対をされていて、園に存続をさせていただけないか話し合いをしています。なかなか進展がなく、このままでは子どもたちの行き場がなくなってしまう。子どもたちは幼稚園が大好きです。保護者にとっても、認可園に入れられない現状で、幼稚園の教育も受けることができ、長期休みの預かり保育をしてくれる、この園がなくなってしまうのはとても困ります。子どもたち、先生方、地域の方々も園を残してほしいと心から願っています。

**八嶋さん**：今、存続を願うたくさんの方々、保護者や地域の方、卒園生達で、待機児童ゼロを目指す福田市長に話を聴いていただきたい、聴いていただけないかということで、お手紙を皆さん、たくさん書いてくれています。予想以上の方が書いてくれています。

今回、福田市長に直接お話を聴いていただけるということで、待機児童解消のために、保育園を新設するというのも一つの方法なのですけども、経営が苦しい幼稚園もあるということを知っていただいて、既存の園への支援も、困っているところがあれば、助けていただけないかなと思い、ここに来ました。

直接、幼稚園に来ていただき、存続を願う保護者、先生、地域の方の話を聞いていただけないかと思ひまして、参加させていただきました。

福田市長のお力をお借りできないでしょうか。

よろしくをお願いします。

**福田市長**：それぞれに、今のお二人の方もそうですけれど、皆さんから切実なお話をいただきまして、ありがとうございます。

一つ一つお答えしていきたいと思えます。

まず保育の質の話でありますけども、確かに数だけを追い求めるのではなく、質の問題というのも大変重要なことだと思っています。一方で、この川崎のようなですね、都市部とそれから、田舎といったあれですけれども、地方の土地にもものすごく余裕があるところとでは、おのずと整備できるものっていうのが違ってきてしまうというのは、これどうしてもそういうことになってしまいます。もう御承知のように、例えば、川崎区で、大きな園庭をとということであると、非常にこれ整備自体が難しい。そもそも、そういうことであるなら、質の問題よりも、数その物が全く整備できないということにもなってしまいます。

そういった厳しい点があるということ、是非ご理解いただきたいと思っています。

しかし、質の問題というのは大変重要なことでもありますから、今回も公立の保育園というのは機能を少し拡大して、民間の保育園の皆さんに質というものをちゃんと担保できるように、いろんな協力だとか、あるいは、指導みたいなこともしっかりしていきたいと思っておりますので、こういったところで、しっかりと質の問題というものは担保していきたいと思っています。

それから保育士さんに限らず、待遇面というのは、川崎市だけでできないというのが非常に残念でありますけれども、我が国は、人に係る仕事、特に保育園ですとか、あるいは幼稚園の先生でありますとか、あるいは介護の仕事ですとか、こういった人に関わっている人の仕事の給料は非常に低いと思っています。

そこはすごく大変残念と思っておりますけれども、これは、川崎市単独で、どうにかできるような話ではないので、これは問題提起、国にもしっかりしていきたいと思っております。

それから、石倉さんから認可の方がいい、民間参入というのは、株式会社というのは、よくないんじゃないかというお話でしたけれども、ちょっと反対意見になってしまうのですが、私は、どの事業主体でもきちんと質を担保されれば、どの法人がやっていただいても良いと僕は思っています。できるだけ、私は「民間にできることは民間に」というふうに、限られた税金でありますから、誰かが払ってくれるわけではなく、私たち全員が負担している税金の中でやっていくことでありますから、しっかりと質を担保した上で、どの法人でも質が担保できれば、なるべく、「民間でできるものは民間で」と思っております。

一方で、認可外のところで、質が担保できていないのではないかという懸念があると、これは川崎の独自の認定の方式でありますけれども、川崎認定保育園というのを作ってですね、そこで、しっかりと質の担保を図っているというところがございます。ここの質を下げることなく、しっかりと担保していくということが必要です。石倉さんのおっしゃっているお話ですと、今回、5千円から2万円に最大補助をして、認可外のところでは入りやすくするというのは、実は、アンケートなどでは、認可外には行ってもいいのだけど、最大の入れない理由がやはり保育料の問題。認可に入りたいという人はどうしても保育料が安いから、認可園に行きたいと言う人たちもいらっしゃるのですね。そういったところで、認可外でも入りやすくして差し上げることが大事ということで、5千円から2万円にさせていただいたところなんです。

ご懸念の、先ほどの田母神さんの話でも、そうですけれども、保育の質というものにはこだわりを持ってやっていきたいと思っています。単に数合わせをすることがないようにしたいと思っています。

この保育園で、子どもを預けると一体いくらかかるのかという、税金の負担については、納税者の皆さまとして、やはり知っていただきたいという思いがあります。公立の保育園で、ゼロ歳の子どもさんを預けると、一体いくら税から負担するのかということですが、大体、一人当たり、年間で240万円の税金が、ゼロ歳の子どもさんたちに対して支払われることとなります。実は利用者の皆さんでも、そんなにお金が入っているのかということにびっくりされる方もいらっしゃると思いますけれども、それくらい公立の保育園でゼロ歳ということになると、それくらいかかっていることとなります。

認可って大変重要だとは思いますが、これずっと作り続ける認可で、例えば公立ということになりますと、いくらお金があっても足りないということになります。ですから、そこはきちんとバランスを取っていかなくてはならないと思っております。

それから、越川さん、八嶋さんのお二人から頂いた大師の幼稚園、保育園のことですが、おっしゃっていただいたように、たくさんの方への手紙をいただいています。何とか存続させてほしいという切実なお気持ちはよくわかります。

私も子どもが3人おりますので、幼稚園に通わせていた時もありますし、これが本当に自分の子どもが通っている幼稚園がなくなってしまうとすれば大変だというのは良くわかります。一方で、今の施設の法人様とも、市の方と相当色々なやり取りをさせていただいて、耐震基準を満たさないということで、何度か存続していただけないかということもお願いしていたところです。既存施設への補助ということもございますけれども、色々な意味での公平性、公正性ということを考えますと、なかなか、この園だけはということにはいかないというのが、行政としての公平性を担保するとはいけないということです。特に、大師地区は、新しいマンションがどんどん建っていく、人口が若い世代が増えているところでありまして、そういった意味で、26年度に、保育園、27年度に幼稚園が廃園ということですので、法人様のご意向も聞いていますので、通っていただいている子どもさんたちですね、あるいは保護者の皆さんにもお手をかけないように、どこかの園にご紹介するというのをやっていかなくてはならないなと思っております。

既存の施設に大師の幼稚園と保育園だけにとということにはなかなか難しいということをご理解いただきたいなと思っております。今後とも法人の皆様ともしっかりと調整させていただきたいと思っております。

## イ 教育

**佐々木さん：**こんばんは。川崎区日進町に住んでいます佐々木和子と申します。私も、小学校で教員を35年間、給食を食べさせていただいて、子どもたちと一緒に、給食時間を過ごしてきました。

その子どもたちが、中学校に行って、ずっと給食がない状態で、今、孫の世代が中学生になるという年齢なのですけれども、市長さんが16年実施（※2016年）ということで、本当に良かったなと思っております。その内容について、さっき、保育で質の問題ということが出ましたけれども、大阪市の状況はご存知でしょうか。大阪

市では、128校の実施を1年間でやりましたけれども、一食300円で、給食か、弁当かということで、デリバリー方式でやって、10%前後の喫食率となっていて、そのような川崎市にしてほしくない。是非、自校方式でお願いしたいというのが一点。もう一つが栄養士を各学校においてほしいということで、私のクラスにもアレルギーの子がいましたけれども、その子に対して、卵を入れる前にスープが届きました。そのようにきめ細かな給食ができるのもやはり栄養士さんがいてこそそのものだと思います。日本一おいしい給食のまちかわさきということでお願いしたいと思います。

**市古さん**：昨年3月まで、この地区の小学校で、教師をしていました市古と申します。教育に力を入れていただける市長が誕生して、とても歓迎しております。

ただ、市長は習熟に応じた教育とおっしゃっていますが、もしそれがクラスの子を能力とか、習熟に応じて、分けて、やる授業だとすれば、私はちょっと疑問です。

やっぱり遅れたクラス、頑張りクラスに入った子どもたちの劣等感というか、差別感というか、それは心に、いくら丁寧にやろうとしても拭いきれないものがあると思うのですね。

やっぱり私たちが本当に望んでいるのは、クラスの人数をもっと減らしてほしいという。欧米並みに減らしてほしいということです。私も経験上30人以下の子どもたちだったら、クラスの習熟に応じて、あの子は遅れているから手当しようとか見えるんです。でも35人を超えちゃうと、とにかく授業をやるということで、精一杯です。残念ながら、小学校2年生までしか、少人数学級になっていないので、小学校3年生以上は、39人とか、そういうクラスもあります。

山形県では、中学校まで、少人数学級やったということで、とてもいい成果が出ているということを聞いています。是非、川崎でも、国と同じようなレベルで歩むのではなくて、国よりも先に行く、先に進むということで、小学校3年生以上の学校の方が要望する少人数をどんどんやってほしいということを、進めていただいて、子どもたちや教師を励ましていただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

**竹内さん**：私は耳が聞こえません。竹内と申します。よろしく申し上げます。私は、大師生まれ、大師育ちです。一度も引っ越し等をしたことがございません。

1つ市長に、お願いしたいのですが、川崎市には、大学がございません。横浜市も、県にも大学があります。なのに、川崎市には大学がありません。子どもたちがみんな、大学は横浜、ほかの方面に行ってしまう。非常に、川崎市としても誇りが持てません。誇りが持てるように川崎市にも大学を設置してほしいと思います。

砂田アトムという人がいるのですが、大学を是非設置したらどうかというお話も聞いたことがあるのですが、川崎としては市立として大学を是非設置してほしいと思います。

是非お願いいたします。

**市長**：まず、佐々木さんから、中学校給食の話をいただきました。平成28年度に全校実施を目指して、今やっているところです。最後、おっしゃっていただきましたけれども、

日本一美味しい中学校給食ということで、私も、中学校給食をやるなら、日本一と誇れる中学校給食をやりたいと思っています。

私が重視する中学校給食の条件というのは、温かくて、おいしくて、そして栄養がしっかりとバランスよくできていて、そして食育がしっかり。中学校の段階というのは、大変食育が大切だと思っています。大体、食が乱れるのは中学校くらいというのが私自身の経験則で、将来、大人になっていくときに、しっかりと、どういう食を選択していくのかというのを学ぶ時期として中学校はすごく大事だと思っています。

そういった意味で、良い給食をやりたいなと思っています。その手法については様々なものがあると思います。ですから、今4つ上げました条件にかなうものであれば、どの手法でもいいと思っていますが、先ほどの石倉さんのご質問でも言いましたとおり、なるべく私は「民間でできることは民間で」と思っていますので、その視点を踏まえながら、この4つの条件にしっかりとかなうものを選択していきたいと思っています。

今後、どういう方式でやるかというのを、検討していきますので、注目していただければと思っています。

市古さんから少人数学級のお話がありました。先日も、小学校で試験的にクラスを分けてやっている少人数のところを教育委員の人たちと一緒に視察してまいりました。私が目指している習熟度別クラスというのは、何も進学校のように、受験勉強をするようなものを目指しているのでは到底ございません。100パーセントの子ども達が100パーセントの義務教育課程をしっかりと定着させることが目的ですから、そういった意味で丁寧な授業というのをやっていかななくてはいけないと思っています。

それで、少人数学級のところに行きまして、子どもたちと話をしまして、給食のときにも話をしたのですが、「小人数だと、授業は分かりやすい？」と率直に質問したら、「全然変わらない」と子どもたちはいっていました。「大人数であっても、少人数であっても、あまり変わらない」といっていたので、そんなものかなと、逆に、私はびっくりしてしまいました。これがすべての意見ではないと思います。こういった意見も子どもたちにあつて、しっかりと、学校現場に混乱を起こさないように、そして、目的は子どもたちに、きちんとわかる授業を提供して、義務教育課程をしっかりと定着させるということですので、その意味で習熟度も含めたことを研究しているところでございます。

竹内さんからいただきました川崎に川崎市立の大学をというお話ですけども、全国で、大学というのが余っている状態なのですね。学生数の定員を超える大学が全国にありまして、今、大学経営そのものが厳しくなっています。ですから、つくるというよりも、むしろ閉校している、閉じている大学があるというのが現状です。

そういう意味で、この川崎にも誇りを持って大学がほしいという思い、私もそういう気持ちは一緒ですけども、現実的には大学を作るというのは難しいと思っています。

## ウ 福祉

岩本さん：岩本と申します。区の社会福祉協議会の部屋を固定していただきたいと思えます。また、会議室も、50人くらいが入れる部屋を作っていただきたいと思っています。30年間の間に4回も場所が変わっているのですね。ですから、大変困っています。場所はずっと使えるようにしていただきたいと思えます。

以上です。

**田中さん**：こんばんは。田中と申します。今、大島に住んでおります。日常生活用具についてなのですが、5年間買い替えることはできません。途中で故障したとき、壊れたときなどに買い替えたいと思います。新しくいただきたいと思います。例えば、音ではなくて、光で知らせる機械があるのですね。それを5年以内に途中で故障した時にも買い替えていただけるようにしてほしいと思います。

**吉野さん**：こんばんは。吉野と申します。タブレット端末についてです。麻生区の方で、今、タブレット端末を使っています。聞こえない人たちが来たとき、なかなか気持ちを伝えられず、困ったことが起こっています。ですから手話通訳を派遣していただければ安心して相談もできます。タブレット端末はやめて、手話通訳の派遣をするようお願いしたいと思います。

**市長**：まず岩本さんから社会福祉協議会の会議室を固定してほしい、50人程度の部屋がほしいということでした。駅前のルフロンの方に場所が移ります。ちょっと50人は入れるか、どうかは正確には言えませんが、会議室が大きくなると思いますので、その辺は改善されるのではないかと考えています。

一方で、ずっと固定化してほしいというお話は、どこの施設でもそうですけども、公平性の観点から、やはり抽選にというのはほかの団体でもそうですけども、皆さん使いたいという声がありますので、固定化というのは難しいと考えています。

それから、田中さんからの、医療器具というのでしょうか、5年間ごとの買い替えで補助が出るということで、現状、そうなっていると思います。ご不満かもしれませんが、最低限の観点から5年ということで、それぞれ器具によって耐用年数が違うのですよね。ですから、ご入用のものが5年だったり、耐用年数が5年だったり、違うものは違う年数だったりとなっていると思いますので、少し私も研究してみたいと思いますが、おそらく耐用年数にあわせた補助のやり方になっていると考えていますので、ご理解をいただきたいと考えています。

吉野さんからタブレット端末のお話がありました。今、麻生区に設置しているということですが、実際、私も不勉強で、まだその機械がどういうタブレットで、どうなっているのかというのを見たことがないのです。そういう意味で、今度、麻生区役所に行つて、私が見ても、あれかもしれませんから、ご利用になっている方がどういうご不便があるのか、お話を伺いたいと考えています。一方で、これをどんどん増やしていくということにはなっていないと私は聞いています。いずれにしても、私自身その現場を見させていただきたいと考えています。

以上です。

**吉野さん**：是非、聞こえない人も一緒に行ってください。

**市長**：そうですね。そのように申し上げました。

吉野さん：よろしくお願ひします。

## エ スポーツ・文化

大和田さん：小田から来ました大和田です。

私の願ひは2点ありまして、1点はですね、富士見にある市の体育館ですね。来年建替え工事になるということで、今年いっぱいいきり、使用できなくなりますね。それで、その使用できなくなる期間は2年9か月と聞いています。代替え施設もなくて、私たちは追い出される形になるのですね。ですから、是非とも代替え施設を作ってもらいたい。それが1点です。

新しく市の体育館ができたからといって、使用料は今のままでお願ひしたいということ、その2点です。お願ひしたいと思います。

以上です。

佐野さん：こんばんは。私は、四谷上町に在住しています。

私も、今、文化面で発言させていただきますけれども、地域でコーラスをやっています。練習は、田島プラザ、大師プラザでやっていますが、それぞれの会場がなかなか取れない状況があります。川崎駅の向こうにミュージアの市民交流室というのがあって、そこで一度やったことがありますけれども、私たちのコーラスの中では、300名くらい入れる会場が一番適当なのです。それで響きのある会場を作ってほしいということで、お願ひをしたいのです。

それは、今回、福島で原発に会われた人たちも川崎区内に来ています。そういう人たちに、歌でもって、力づけたり、生きる力を伝えていきたいと思っていますので、そういう音楽の関係で会場を作ってほしいという願ひを込めて今日発言させていただきました。

よろしくお願ひします。

市長：まず、大和田さんからあった富士見公園、要するに、代替え施設がないということでもありますけども、何のスポーツでいらっしゃいますか。

大和田さん：私はエアロビクスと、ストレッチングの教室に通ってまして、週2回行っています。もう12年も行っています。

市長：ご不便をおかけすると思うのですが、それぞれの代替施設というのは、例えば、ちょっと遠いのですが、幸のスポーツセンターですとか、あとは、川崎区内の施設のところに、代替えのところをご用意させていただくことになると思います。全部がそうなるかということ、そこはもう一度調べてみますが、今のところでは、できないということになりますから、いずれにしても、どちらかに代替え、ほかのところに行っていたかなくてはいけないということでご不便をおかけすることになります。申し訳ないと思っていますが、2年9か月後に、しっかりと良い施設を作って、ご利用いただけるように、その間、ご不便をおかけしますが、代替え施設はきちんとご案内させていただきたいと思っております。

それから、料金は、今回消費税の値上げもありますけども、今後、新しくなったときに、

消費税は勘案しなくてはいけないということと、なるべく低料金でやった方が良いというのは当たり前の話ですが、どういうコストがかかっているか、しっかりと計算して、先のことでもありますので、今の段階で利用料金のことは何とも申し上げられない。

**大和田さん**：なるべく、今の料金に近いのでお願いしたい。そうでないと、なかなか通えませんので、よろしくお願いしたい。

**市長**：それから、コーラスのことで、歌の力というのをいただきましたけれども、私も歌の力はすごいと思っていますけれども、新しい施設ということになりますと、すごく難しい話ですね。本当に、新たな施設というのはお約束できないのですけれども、特に、300名からの施設となりますと、大規模なものになってしまいますので、難しいと思っております。今、ちょっと、とてもお約束できるあれにないと思っております。

このコーラスに限らず、色々な市民活動をされている方々が屋内・屋外を問わず、施設が足りないということは市内の色々な所で聞いておりますけれども、限られた皆さんの大切な税金ですから、しっかりと皆さんの声を聞きながら、やるものはやる、できないものはできないということで判断していかなくてはいけないと思っております。

## オ 県有地

**片柳さん**：片柳進といいます。

小田一丁目の県の公務員宿舎跡地のことなのですが、市が買うか、借りるかして、住民のために使ってほしいと思っています。

今日は、小田一丁目に住む障害者の娘さんを持つ女性から、子どもさんの世話をしており、自分が行けないので、代わりに発言してきてほしいということで参加しました。この方、できたら障害者固有の施設にしてほしいのだけれども、先ほど、別の人からもありましたように、保育園や高齢者の施設も足りないから、できたら障害者の施設が良い、少なくとも市民のための施設にしてほしいということを私に託されました。

ほかにも多くの方が市民利用の施設を求めていると聞いていますし、先ほど、保育園のところで、市長が川崎区に土地がないと言われましたが、既に県が使っていない土地があるので、そういう土地は保育園とか、高齢者の施設や障害者の施設とか、色々な用途がありうると思うのですが、どちらにしても住民の声を聞いて現場主義の市長ということで、期待しているのですけれども、ほかのところにも県有地があると伺っているので、そういうところも含めて、市民や住民が使えるように、是非してほしいと思っています。

以上です。

**高木さん**：こんばんは。小田一丁目に住んでいます高木春枝と申します。

同じ所なのですけれども、小田一丁目の県警の跡地が、今、皆さん出られて空き家になっているのですね。そちらは、かなり広い区域で、私たちが、素人考えでは、老人のコミュニティ、それから保育園、それから特養もできるのでないかと思っております。そういう複合によって、老人と、幼児の語りあいとかで、すごく良い結果が出ているところをテレビでも見ているので、今あるのを壊すのではなく、耐震がだめだったら、それを補強

してとか、今の建物を使ってできないかなと思っているのです。保育園なんかも、家の近くに無認可保育園があるのですけれども、本当に小さいお家の中で、やっているのですね。遊ぶところがないようなところでやっているのですね。こちらだったら、園庭もできますし、食事なんかも作っていた場所もありますので、色々使えると思うのですね。

川崎区は、田島とか、大師とか、日進町には福祉センターがあるのですが、浅田、京町、渡田山王町、小田の一丁目、七丁目、池田町、その地区にはセンターがないのです。

見ていただいて、よろしく願います。

**市長：**片柳さんと高木さんは、小田一丁目のことでありまして、同じ場所のことですよ。川崎区内の県有地で、川崎で使えませんかというか、県では土地利用しないといっているところは、小田一丁目だけでなく、京町の方にもあり、近所の方から、様々なもの、片桐さんは障害者施設、あるいは高木さんから高齢者、幼児の教育施設という、様々な要望をいただいておりますけれども、この土地についてどうするかは、まだ決まっております。それこそ、限られた財源の中で、あっちも、こっちも全部買う、あるいは借りるという訳にもいきませんから、総合的な判断をしていかななくてはいけないと思っています。現時点で、決まっている段階ではないので、お答えできる段階にはないのです。

一方で、障害者施設、入所施設みたいなものを作るには、この前も県知事をお願いしてきたのですが、県の許可がいるのですね。川崎市で、やりたいからといって、勝手に作れるものではないので、入所定数というものが県の計画の中に、はまらないと、そこは建物作っても、できないということになってしまいますので、そういったところをちゃんと勘案して、これから、今障害者の入所施設が足りていないという現状を私もよく承知しておりますので、この場所か、どうかは別にして、そういうものは必要だと思っています。

ただ、県有地というよりも、まずは市有地、市が持っている土地が優先順位が高いと思っていますので、そこからだろうと原則的には考えています。

しかし、様々な、どこに何をというのは総合的に考えていかななくてはいけないと思っています。今後の話でありますので、よろしく願います。

## カ その他

**上田さん：**川崎区在住の上田です。私が言いたいのは路上喫煙防止条例のことに関してです。川崎は、外側ばかりきれいにして、中身が伴っていないのが実情だと思います。

路上喫煙者のほぼ100パーセントといい人が平気でポイ捨てをしていることに、私はすごく腹を立てているのですけれども、地域安全課の方にお話を聞いたり、一緒に清掃活動に参加させていただいたりしているのですけれども、やはり、毎日何百個というタバコが捨てられていて、川崎の街を汚くしている大人がたくさんいます。

現状は、やはり、担当されている方は縮小されていて、川崎区だけが機能している状態だというお話も聞きました。なので、限られた、指導員さんも8人しかいない中で、川崎の禁止区域を回って、それにも限界がありますし、最も市民の人が興味を持って、見ていただきたいので、市長にお願いしたいのは、川崎は注意をして聞かない人は罰金ということになっていますが、横浜市のように即罰金にしてほしいということです。

そして、道路への表示ですが、横浜は、それで裁判になっていますが、川崎市では、道

路を管理しているところに許可を得て、禁止の表示をしなければいけないみたいなんです  
が、どちらも景観が崩れると言って、目立たないものしか許可してもらえない。それでは  
意味がないと思います。平気で、路上喫煙して、ポイ捨てをしているのに、景観も何もな  
いと思います。

地域安全課の現場の人のきちんと話を聞いて、路上喫煙をきちんとしっかり浸透させて  
いけるように、現場の声を市長に是非聞いてほしいと思います。

お願いします。

**大橋さん：**日進町に在住しており大橋と申します。

今回、私は3点、市長にお話を聞いていただきたかったのですが、1点だけと言われた  
ので、本当は簡潔に3つ言いたいことがあります。1つは、今の上田さんと同じように、  
路上喫煙の対策ですけれども、私は保育園に預けている子ども送り迎えで毎日さいか屋の前  
を通っているのですが、あそこは重点区域になっていて、実際には、路上喫煙禁止なので  
すけれども、毎日のように、路上喫煙をして、ポイ捨てをしている方を見つけています。  
私は注意をしてしまうのですけれども、それで、聞いてくれる人もいれば、何でお前に言  
われなければいけないのだという方もいらっしゃるので、やっぱり、目につかないですよ  
ね。ここは重点区域ですというのが、歩道にちょっと載っているくらいなので、それが周  
知されていないというのをつくづく感じています。たまに、嘱託員の指導員の人にお会い  
した時も、やはり、市全体で8人しかいらっしゃらないので、8人で回していくのは大変  
だという話を聞いておりますし、過料の2000円の徴収も1回くらいしか取っていない  
ということも聞いています。

もう一点が小児医療費の助成の拡充についてなんですけれども、現在、川崎市は、1歳以  
上は所得制限で、常に医療費がかかるような形になっているのですけれども、それも所得  
制限なしで、逆に、無料だからと言って何回も通われている親御さんがいるのですけれど  
も、そうではなくて、一律一回500円とか、300円とかで平等に自己負担していただく形  
で、所得制限無で医療費の補助の拡充をしていただきたいなと思っております。

待機児童の件については、ちょっと先ほど子育ての話で、すいません。

**坂本さん：**川崎区の藤崎に住んでおります坂本と申します。何点かあるのですけれども、  
私は、中学、高校、大学、今会社を退職しまして、母校の大学院で勉強しているのですけ  
れども、それとは関係なく、自転車のマナーですね。一番、神奈川県内でワーストワンが  
川崎と聞いております。それを聞いたのは、川崎警察で免許の更新の講習会の先生がおっ  
しゃっていました。それと、毎日ではないのですが、タクシーのドライバーさんとか、自  
転車の交通信号とかを無視していくと、高校生が携帯電話しながら、自転車に乗ってい  
ると、その中で、やっぱり、オランダのように、車道と自転車道を、一部川崎でもありま  
すけれども、それをもうちょっと強化してほしい。

もう一つは、やはり、子どもは、大人のまねをしまするので、実際、やられているかもし  
れませんが、義務教育、小学校、中学校等でマナー、それからルール、子どもの時から教  
えていく形で、予算があるかどうかわかりませんが、その部分をお願いしたいと思  
って参加させていただきました。

よろしくお願ひします。

**外木さん**：貝塚の外木と申します。先日、市政だよりを見て、エレベーターの補助金の件ですけれども、一般的な補助金というのは、これから検討されるか、されないかお聞きしたいと思ひます。

**市長**：まず、上田さん、大橋さんには路上喫煙の話で、いただきました。マナーが守られていないというのは、本当に、ちょっと残念だし、恥ずかしい話だと思ひています。ポイ捨てもなかなかなくなるので、8名ということで、少人数になっていますが、なるべくというか、しっかりと実効性が担保できてこそ、条例でありますから、その点については、ちょっと、どのように改善していくかというのを少し研究させていただきたいと思ひます。しかし、しっかりと確実に、実効性が担保できるような形にしたいと思ひています。特に、子どもさんを連れていると非常に危ないですから、そういった意味でもしっかりとやっていきたいと思ひています。

お2人から、やはり看板の表示のことは、おそらく、ご指摘の通りだと思ひますが、私自身も歩いてみたいと思ひています。どういう風になっているのか、もう1回現状確認を僕自身もしたいと思ひています。ほとんど見えない、意味のない看板だと、意味がないので、趣旨に合うような改善ができることをしていきたいと思ひています。

現場の声を聞いてくれというのは、もちろん、それはそうだと思ひます。やります。

それから、大橋さんの小児医療費の話については、今後、私も、市民の皆さんに小児医療費の拡大ということをお約束しましたので、今後、その準備にはいっていきたく思ひますが、一方で、制度を使うと、どんな制度でもやはり、モラルが問われてしまう部分がある。私は、おそらく、ほとんどの方が、本当に必要だから医療機関にかかっておられる、特に子どもさんの話でありますから、無用なものはないと思ひますが、もしかしたらそういった方がいらっしゃるのかもしれないと思ひます。

所得制限は、やはりどうしても私必要と思ひています。できれば、所得制限なしで、やりたいという気持ちはあるのですが、これはもう、繰り返して、財源のことがありますので、どこで線を引くかという、やはり所得のところになってしまう。そこは、私は、所得制限は必要だという、そうせざるを得ないという現状があります。

それから、坂本さんから、自転車のマナーというので、ご指摘がありましたけれども、これもマナーの話ですし、道交法も改正されてですね、厳しくなっていると思ひます。しっかりですね、自転車専用道路みたいな形で、今、駅前でも、できてきておりますので、可能な範囲で、そういう整備を進めていきたいと思ひますが、子どものときから、マナーというか、学校での自転車の安全教育なんかを行っていますけれども、しっかりそれをやっていかななくてはいけないと思ひています。

いずれにしてもマナーの話と、それから自転車は、道交法の軽車両でありますから、そのことをやはりしっかり認識してもらわないといけないですね。それは本当におっしゃる通りだと思ひます。それに向けての意識啓発というのはしっかりやっていきたいと思ひています。

それから、外木さんから、ご自身の所有のエレベーターに、補助ということでございま

すか。

**外木さん**：毎月2万円の管理費をもらっているが、そういう補助があるか、・・・。

**市長**：それはですね、個人所有のビルのエレベーターについては、管理費ということへの補助というのは全く考えておりません。

#### キ 追加の提案・意見等

**竹内さん**：失礼な言い方になるかもしれませんが。市長は、聞こえない人と会うのは初めてでしょうか。

**市長**：いいえ。

**竹内さん**：わかりました。はじめまして。今まで引っかかっていたことがあります。車の道路の真ん中に木が植わっていますが、あそこがすごく汚くなっています。あれは掃除ができないのですか。車の道路の分離帯というのですか。伸び放題というか、とても汚くなっています。何かお掃除みたいなものは市がやっていないのですかね。

**市長**：道路の街路樹の整備は市でやっております。確かに場所によって、特に汚い所はあるというのは感じる場合があります。これは、普通の道路であれば、幹線道路なんかも市でやっていますし、あるいは、住宅地というか、道路の花壇というか、そうしたところは、市民の方のボランティア、町内会の方にやっていただいているところもありますので、それは市だけではないのです。住民の方々にご協力をいただいているものもあります。

**竹内さん**：ロイヤルホストの前の道です。あそこが一番汚いです。

**市長**：あそこは国になっちゃうんです。国道です。

**豊本区長**：私の方からお答えしますが、あそこは、国道1号線は国が管理しております。私どもも、国道事務所に申し入れをしております。やはり人手がなく、予算もなく、きめ細かく対応ができていないのが現状ですので、皆さんの意見も聞きながら、我々も、月1回、私ども区の職員がこの周りの清掃をしています。あそこも、歩道なんかにつきましても、私どもがやっています。おっしゃるとおり、たばこなどが多いのが現状です。少しでもマナーを守れるように協力していきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

**竹内さん**：わかりました。どうもありがとうございました。

**市古さん**：先ほどの市長さんの答弁を聞いていて、やっぱり、もっと全体の条件をよくするのが大前提だと思うのです。例えば中学でも、ほとんどの県が独自に少人数を始めて

いますよね。ところが、川崎は、神奈川はやっていないのですよね。習熟度による工夫をやるためにも、やっぱり全国的にいうと、非常に過密なのは都市部、特に川崎だと思います。中学校だと半分くらいが35人以上の学級で、それが放置されているのは、とんでもないことだと思うのですよね。山形県の例はありましたが、それはもちろん、過疎でという条件もありますけれどもまずは、普通に全国的にも当たり前な少人数の学級にして、その上で、新たな工夫をするということだと思います。

私も教師でしたので、一人ひとりの工夫というは38人のクラスと、最後が私28人のクラスで、とても楽しく1年間過ごさせてもらったのですが、全然違います。それは子どもたち自身も実感していると思いますので、是非、まず少人数というのを大きい柱にしたうえで、プラスアルファの工夫が望まれると思うので、よろしくお願いします。

**市長：**少人数のご提案というのは、先ほどから頂いておりますけれども、少人数も1つの策だと思います。一方で、やっていかななくてはいけないのは、この前の、子どもたちの声もそうですし、教員の授業力というか、その授業力の向上というのが絶対的に重要なので、人によっては少人数の問題ではなく、教員の授業力の問題だと言われることも多いわけですから、そういった意味で、一律に少人数になれば全てが解決する話ではないと思っています。そういった意味で、先ほどから申し上げておりますが、子どもたちが小学校、中学校は全員が最低限学ぶ、これ課題ですから、ここがきちんと定着する環境づくりをやっていく、そのための色々な手法があると思います。ですから、少人数学級だけが、その手法ではないので、習熟度も含めて、TTとって、教員を補助する職員という形も、これまでもやってきておりますけれども、そうした様々な工夫をしていきたいと思っています。

**大橋さん：**3点あると言っていたうち、時間がなくて言えなかったのですが、待機児童について、子育てのところで株式会社の参入についてちょっと否定的な意見もあったのですが、私は実際、認可外に子どもを預けておまして、感じたことを話させていただきたいのですが、私も子どもが1歳になるときに、4月入園の認可を申し込んだのですが、残念ながら入れないということで、こちらの区役所の方にお聞きしたら、ずっと待っていても、多分大橋さんのところは、次から申し込まれたの方が、優先順位が上がってしまい入れないことが多いということだったので、急いで認可外を見つけて入ったのですね。認可外もピンきりだと思うのですが、私がいま預けているところは敷地面積としては狭いので、園庭とかはないですが、その分サービスは充実をしています。

逆に認可のところに見学に行ったときに言われたのが、紙おむつを毎日持ち帰るとか、毎週月曜日にはお昼寝のシーツを親御さんが朝早く来て張っていかなくてはならないとか、結構、手間をお聞きしたので、保育料もそんなに変わらないというのも実際にありましたので、それであれば質の良い認可外をどんどん参入していただけたらなと思います。

逆に、認可外に入れてある親御さんにも認定保育園のような形の補助を少しでも出していただけると助かると思います。

**市長：**ごめんなさい。最後の部分はなんておっしゃいましたか。

**大橋さん**：今、認定保育園は2万円まで所得に応じて補助ができる形になったじゃないですか。なので、認定外でも、サービスの良い所はあるので、そういうところを見極めて、きちんとそういうところに入れている親御さんへの補助が5千円でも、1万円でも出るだけでもありがたいな。

**市長**：ありがとうございます。

いわゆる株式会社でも、質の良い所があるというのは私も聞いております。

最後のところは、認可外の中の川崎認定保育園という一定の水準が高い所に補助を出すということですので、それ以外になると、耐震基準がクリアできていないとか、様々なところがあり、何よりも重要なのは子どもたちが安全であることですので、そこは、質を高めていくという意味で、この面はクリアしていただかなければいけないと思っています。

そういった意味での利用しやすい所に補助を出すという考え方でやっていきますが、今年の予算で、こうした拡充をさせていただきましたけれども、どういうやり方が本当に子どもたちにとって良いのか、絶え間ない努力と研究をしていかなくてはいけないと思っていますので、色々な声を聞いていきたいと思っています。

ありがとうございます。

### (3) 市長挨拶

今日は、もう8時を過ぎて、こんな時間にお集まりいただきまして本当にありがとうございました。

貴重なご意見ばかりでしたけれども、なかなか意にそぐわないようなお答えもあったと思います。しかし、こういった対話を繰り返していきたいと思っています。ご提案の中には、本当にああそうだなと感じさせられる部分もありましたし、自分がまず現場を見てみようという意見もありました。

こういったことをまだまだ始めたばかりで、今回2回目でありますので、これから工夫もしていきながら、皆さんの声をお聞かせいただきたいと思います。

今日は、貴重なお時間とご意見をいただきありがとうございました。

どうぞこれからもよろしく願いいたします。